

2025年度（令和7年度） 町田市立南中学校 家庭科 3年 年間指導計画及び評価基準

使用教科書：技術・家庭（開隆堂出版） 年間授業時数：17.5時間

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 ～ 10	①幼児のころと今の自分	0.5	○幼児期への関心をもつ。	・自分の幼児期をふり返り，幼い頃の夢やエピソードなどをまとめる。 ・ICTを活用する。		・幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定している。	・幼児との関わり方について，課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
	②幼児の体の発達	1	○幼児の身体の発育について，発達の方向性や順序性ととともに，個人差があることを理解する。	・幼児と今の自分の脈拍の違いについて知り，幼児の体の発達の特徴について考える。	・幼児の身体の発達の特徴について理解している。		
	③発達にとってのおとなの役割	1	○子どもが育つ環境としての家族や周囲のおとなの役割について理解する。	・幼児が基本的生活習慣を身につけていく過程での家族や周囲のおとなの役割を考える。	・子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。	・幼児との関わりについて解決策を構想している。	
	④遊びが必要なわけ	1	○自分の実践的・体験的な活動を通して，幼児にとっての遊びの意義を理解する。	・幼いころに遊んだ経験を思い出し，幼児がいろいろな遊びで育つ力について考える。	・幼児にとっての遊びの意義について理解している。		・よりよい生活のために，幼児との関わり方について，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。 ・計画に沿って主体的に製作に取り組もうとしている。
	⑤遊びを支える環境	5.5	○幼児にとって遊びは生活そのものであり，十分な遊びを経験できる環境が重要であることを理解する。 ○幼児のおもちゃ「ハンドパペット」を製作する。	・幼児のために工夫された遊び道具や遊び場所について調べ，遊び道具の役割や遊ぶ環境について考える。 ・幼児の年齢にあった「ハンドパペット」のアレンジについて考え、製作をする。	・製作するものに適した縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできている。	・幼児との関わりについて解決策を構想し，考察したことを論理的に表現している。 ・幼児の年齢にあったアレンジを考え実践している。	

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
11 ・ 12 ・ 1	①消費生活のしくみ	0.5	○物資とサービスの特徴がわかる。 ○消費生活のしくみがわかる。	・「わたしの興味関心」で自分の生活をふり返りながら、消費生活・環境に関する考えを深める。 ・自分の生活を支えているものについてあげる。	・物資・サービスについて理解している。	・物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定している。	・商品（物資・サービス）の選択と金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	②家庭生活における収入と支出	0.5	○収支のバランスをはかり、計画的に金銭管理する必要があることがわかる。	・優先順位を考え、自分にとっての計画的な金銭管理とは、どのようなことかを考え、まとめる。 ・「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。 ・ICTを活用する。	・計画的な金銭管理の必要性について理解している。	・物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	・計画的な金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し実践しようとしている。
	①いろいろな購入方法	0.5	○店舗販売と無店舗販売の特徴がわかる。	・店舗販売と無店舗販売（通信販売）の長所と短所について話し合い、発表する。	・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。	・物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想している。	
	②購入前に知っておくこと	0.5	○売買契約について問題発生の原因や予防方法を含め、理解する。	・契約の意味やルールをワークシートにまとめる。	・売買契約の仕組みについて理解している。		
	③いろいろな支払い方法	0.5	○即時払い、前払い、後払いの特徴を理解し、利点と問題点を理解する。	・商品を購入するときは、情報を集めること、価格だけではなく、品質、表示やマーク、環境などを検討し選択することを考える。 ・「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。	・支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。		
	④情報を活用した上手な購入	0.5	○生活情報の収集や活用のしかたを理解し、目的に合った商品を選ぶことができる。	・商品を購入するときは、情報を集めること、価格だけではなく、品質、表示やマーク、環境などを検討し選択することを考える。 ・「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。 ・ICTを活用する。	・物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。	・物資・サービスの購入について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	

	① なくなる消費者被害	1	○消費者被害の現状や背景について理解し，予防の方法がわかる。	・教科書や地域の消費生活センターの資料から中学生に多いトラブルの内容を知り，自分の経験を発表する。	・消費者被害の背景とその対応について理解している。	・自立した消費者としての消費行動について問題を見だして課題を設定している。	・消費者被害の対応について，課題の解決に主体的に取り組み，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。
	② 消費者を支えるもの	0.5	○消費者を支えるしくみについて理解できる。	・消費者を支える機関や法律の必要性を知る。	・消費者被害の背景とその対応について理解している。		
	③ 消費者の権利と責任	0.5	○消費者の権利と責任について理解し，自立した消費者をめざす。	・消費者の8つの権利と5つの責任を身近な事例等を通して理解する。 ・「生活にいかそう」にとりくみ，自分の考えをまとめる。	・消費者の基本的な権利と責任について理解している。	・自立した消費者としての消費行動について，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどしている。	
	① 消費行動が環境に与える影響	1	○環境に配慮したライフスタイルを選択し，実践できる。	・環境を考えて家庭でも取り組めることを具体的に考える。	・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。		・よりよい生活の実現に向けて，消費者の権利と責任について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。
	② 世界の国々と連帯した持続可能な生活の創造へ	1	○持続可能な生活にするために，自分たちができることを考える。	・SDGsの特に12の目導においての自分の取り組み方に就いて考える。 ・「生活にいかそう」にとりくみ，自分の考えをまとめる。 ・ICTを活用する。	・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	・自立した消費者としての消費行動について，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどしている。	

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2	持続可能な住生活をめざして	1	○持続可能な社会の実現に向けて，さまざまな住まいと住まい方の工夫があることを知る。	・持続可能な住生活のために，課題を見つけ，改善方法を考える。		・社会や環境に配慮した住生活について問題を見いだして課題を設定している。 ・社会や環境に配慮した住生活について考え，工夫している。	・自立した消費者として，社会や環境について，課題の解決に主体的に取り組み，工夫し創造し，実践しようとしている
3	3年間をふり返って	0. 5	○3学年間の学習を振り返り，多くのことができるようになったことに気づく。	・内容ごとにふり返らせ，これからの生活で生かしていきたいことを考える。			・家庭分野で学習したことをこれからの生活に生かそうとしている。